



行政B

あきた未来創造部
次世代・女性活躍支援課
女性活躍・両立支援班
主事 山岡 彩音

経歴 採用8年目

- H29年 あきた未来創造部
次世代・女性活躍支援課
女性活躍・両立支援班
- H28年 企画振興部 人口問題対策課
少子化対策班
- H27年 企画振興部 人口問題対策課
出会い・結婚支援班
- H26年 観光文化スポーツ部
観光振興課
調整・国際観光班
- H23年 入庁
雄勝地域振興局 農林部
農業振興普及課 企画班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼・朝コミ
- 9:00 委託業者と、とある企業の
“子どもお仕事参観日”取材へ
(実施内容確認、写真撮影、
参加者インタビュー)
- 13:00 帰庁
- 13:30 広報物校正確認
- 15:00 補助事業の相談対応
→その後、班内で対応を検討
補助金交付の審査
- 16:00 委託業者と打合せ
- 16:30 出張の復命書作成
- 17:30 広報物作成委託業者へ修正
依頼
- 17:40 退庁
- 18:00 帰宅

わたしの職場はこんなところですよ

あきた未来創造部は平成29年に新設された部で、同部に所属する次世代・女性活躍支援課も2年目のニューフェイスです。当課では旧男女共同参画課、人口問題対策課、子育て支援課の業務を引き継ぎ、出会い・結婚から、出産・子育て、仕事と育児・家庭の両立までの一連の支援のほか、女性や若者の活躍支援など多岐にわたる業務を手がけています。

わたしは今、こんな仕事をしています

私が所属する「女性活躍・両立支援班」は、男女共同参画や女性の活躍推進、仕事と育児・家庭の両立支援に関する業務を所管しています。班員は8名(男女はちょうど半々!)いますが、私は主に両立支援の業務を担当しています。

両立支援は、子育てしながら働きやすい職場環境づくりを行う企業の取組になることから、どちらかという個人の方々より企業を対象に行う仕事が多いです。具体的には、企業による積極的な両立支援の実践例の取材やその周知、補助金の交付、企業の表彰などです。

また、今年度は新規採用職員の日々の相談や支援に対応するシスターという仕事も任せられています。まだまだ経験不足ではあるのですが、頑張ってサポートしているところです。

秋田県のここが好き!

適度にヒト・モノがあるところでしょうか。ヒト・モノ共に豊富な都会も好きで時々旅行しますが、秋田に戻ってくるとほっと一息つけるような感覚があります。私は、行きたいな、と思いつつ行けていないスポットが県内にいろいろとあるので、今後の新たな発見が楽しみです。

どんな経験をお持ちで行政Bを受験しましたか?

留学経験で得た、外からの視点と共に、秋田県出身者という内からの視点のふたつを持つ機会に恵まれたことから、これを県職員としての仕事に活かせないかと考え志望しました。また大学で県内の限界集落調査に携わったことがあり、過疎化が進み消えていく集落がある本県の状況をなんとかできないか、という思いもありました。

実際にどれだけ自らの経験を活かしているか分からないところはありますが、初心を忘れないようにしたいですね。

採用されて8年、どんな変化、成長がありましたか?

成長しているのでしょうか?自分では良く分からないのですが、平成30年度はこれまでに比べて特に成長できたのでは、と思っています。

前述のとおり、今年度は新規採用職員のサポート役を担当しています。これまでは自分が最も若手で、教えてもらう側だったため、教える側になったのが新鮮でした。知識不足で間違ったことを教えてしまうこともあるのですが、サポートしている後輩職員と一緒に成長しているかな、と感じています。

オフは何をしていますか?

休日は美術館や博物館、動物園などに行くことがあります。普段目にする事のないような作品や生き物を見るのは興味深いですね。また、家族が海外に在住しているため、夏期休暇や長期で休暇を取得し、遊びに行っています。休暇前になるべく仕事を片付けるようにして、休暇中は思いっきり楽しんでいます。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言!

県職員、面白いですよ。もちろん大変なことはありますが、それ以上に得られるものが大きいと思います。秋田は何にもないところではないということを、一緒に見つけてみませんか?



行政B

健康福祉部 健康づくり推進課
調整・健康寿命延伸班
主事 佐藤 大志

経歴 採用7年目

- H30年 健康福祉部 健康づくり推進課
調整・健康寿命延伸班
- H29年 健康福祉部 健康推進課
健康づくり推進班
- H28年 健康福祉部 長寿社会課
ねんりんピック推進室
調整・大会企画班
- H27年 健康福祉部 長寿社会課
ねんりんピック推進室
ねんりんピック推進班
- H25年 秋田地域振興局 総務企画部
地域企画課
県民生活・産業班
- H24年 入庁
秋田地域振興局 総務企画部
地域企画課
企画・地域振興班

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼・朝コミ、
メール確認・対応
- 9:00 事務処理、業務資料作成等
- 10:00 委託業者との打ち合わせ
- 12:00 昼食
- 13:00 メール確認・対応、事務処理・
業務資料作成等
- 14:00 委託成果品の校正
- 16:00 業務資料の作成、課内検討等
- 17:40 退庁
- 18:00 帰宅

わたしの職場はこんなところですよ

健康づくり推進課では、現在、県を挙げて取り組んでいる「健康寿命日本一」の実現に向け、県民の方々の健康意識の向上を目的とした周知啓発や健康づくりに取り組みやすいような基盤整備等を行っています。行政・一般事務職のほか、保健師や管理栄養士、歯科医師の資格を持つ職員もおり、それぞれの専門分野を活かしながら、県民の健康寿命の更なる延伸に向け、課一丸となり働いています。

わたしは今、こんな仕事をしています

一次予防の施策を行う「調整・健康寿命延伸班」に所属し、広報を担当しています。

高齢化や人口減少が著しい秋田県において地域の活力を維持していくためには、高齢になっても元気で活躍できる健康長寿社会の実現が不可欠です。そこで、県民の皆様元気なうちから健康の大切さに気付いていただき、一人ひとりの健康寿命の延伸に繋がるよう、テレビやラジオ、新聞などの各種媒体を活用したPRのほか、専用ウェブサイト・SNSを通じた情報発信などを行っています。

秋田県のここが好き！

春は花見、夏は海水浴、秋はぶどう狩り、冬はウィンタースポーツなど、四季折々の自然を身近で満喫できるところです。

どんな経験をお持ちで行政Bを受験しましたか？

海外留学経験があり、行政Bを受験しました。留学中に会った他国の友人達が秋田県を知らなかったという経験から、世界の方々に秋田県についてもっと知ってもらいたい、秋田県に来て魅力を知ってもらいたいと思ったことが、受験へのきっかけとなりました。

これまでで特に印象に残っている出来事がありますか？

2017年9月に本県で開催された「第30回全国健康福祉祭あきた大会(ねんりんピック秋田2017)」の企画・運営に携わった際に、大会の広報を担当できたことです。

特に、晴天の中、全国から約1万人の選手等が集結した総合開会式で、自らが担当し制作したテーマソングが流れた時は忘れられない瞬間です。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください

異動により、新しい業務を担当する中で、今まで関わる事がなかった他職種・他業種の方と出会い、一緒に仕事ができるという経験は、自身のキャリア形成に非常に役に立つと思います。こうした経験を通して、あらゆる側面からの秋田県に対する価値観を知ることができ、県職員になって秋田県のことが更に好きになりました。

オフは何をしていますか？

学生時代に陸上競技に励んでいた関係から、休日には小学生の陸上競技のクラブチームでコーチをしています。自らも年1回、大会に出ることを目標に、出勤前・退勤後の空き時間を使ってトレーニングしています。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

高齢化などの課題もありますが、その反面、素晴らしい魅力もたくさんあります。秋田県を楽しみながら、更に素晴らしい秋田県としていくため、一緒に働きましょう！